



暖かく気持ちのよいぽかぽか陽気と共に、新年度がスタートしました。新しい一年も一つひとつできることを重ねながら、子どもたちの成長を保護者の皆様と一緒に見守っていきたいと思います。今回は 3 月に行いました療育やイベントの一部についてご紹介いたします。



【中高生グループ療育】

3 月の中高校生を中心としたグループ療育では、1 年間活動を共にしてきた仲間と力を合わせて何か一つ残るものを作りたい。グランメールを卒業しても、遊びに来た時に自分たちの作品をみて懐かしさを感じてもらえたらという思いから「エコキャップで思い出を残そう！」をテーマにアート作品に挑戦しました。



縦横 5 個ずつ 25 個の蓋を配置するシートを 24 枚用意し、ペットボトルの蓋にボンドをつけて並べていきました。一つ一つ並べている時はいったいどんな絵に出来上がるのかわからないので、完成形を見たい思いから黙々と並べていく子、見本通りに蓋に描かれている絵柄の向きをピッタリ合わせる子、スタッフや他児との会話を楽しみながら並べていく子と様々な姿が見られました。そして作業課題で手先の巧緻性を高めてきただけあり、一つもずれがなく図案通りに完成しました。

「普段ゴミとして捨ててしまっていたキャップが素敵なアートに生まれ変わるんだね。」と出来上がった作品を見ながら話しました。今回の経験が私たちスタッフも SDG s を考える良いきっかけになりました。

通い始めた頃はランドセルの方が大きく見えた子も、スタッフの身長を超え 18 歳になり卒業。寂しい気持ちもありますが、新しいステージに進む事に切り替え始めている姿を応援し 4 月からのまた新しい出会いを楽しみに、活動プログラムを考えていきたいと思ひます。

【茶道教室】

3 年ぶりの開催となった茶道教室では、メイン講師の「天利先生」、そして「刈谷先生」、「三角先生」の 3 名をお招きして開催しました。天気も良く、窓の外には満開の桜を拝みながらの茶会となりました。



おいしいお茶菓子を食べながら、先生のアドバイスのもと、茶筌を振ってお茶を立てていきました。こぼれないように前後に振ってきめ細かな泡をつくることは、思いのほかコツが要り、子どもたちは真剣な様子で取り組んでいました。感想では、「抹茶が思ったより苦くなかった」「お菓子がおいしかった」「初めての体験だったので作法が知れてよかった」という声が聞かれました。

茶道に使う道具を実物や手作りの絵カードでわかりやすく説明していただき、また本物の桜などを飾り雰囲気づくりをした上で、二部式の着物や羽織を着せていただくなど、日本の文化に触れる素晴らしい体験となりました。

【上映会】

春休み期間中、エプソン販売労働組合共催のもと、エプソンのホームプロジェクターを壁に投影し、「ミニオンズ フィーバー」上映会を開催しました。11 名の方が参加していただき「大きな画面で楽しめた」「飽きずに見られた」等のご感想を頂きました。



初めての開催でしたが、子どもたちやお母さま方の歓声や楽しそうな表情を見ることができ、嬉しく思います。「もう少し暗めの照明だと良かった」「もっとアクション多めの内容がいい」というご意見もありました。今後も皆様からのご意見を参考にしながら一緒に楽しめる企画を考えていきたいと思ひます。